

(總本部派ト全會派トノ合同可能性ノ地方ニ出シタモノ)

一、從ツテ、コノ全國運動ヲ通ジテ統一(即チ恒常的ナ協議會又ハ合同ヘノ)ヲ計ル對象ハ小作組合ガ中心デアルガ、ナカンヅク、全會派中ノ動搖地方ノ統一ガ眼目ナノデアル。

二、昨秋來ノ全會派内部ノ動向ヲ見ルニ、總本部ヘノ復歸派、書記局派、單獨組合化派ノ三派ニ分レ、ドノ系統モソノ全部ガイツマデ待ツタ所ガ發展スル見込ガナイ。即チ、全會派ハ、大衆的全國勢力トシテヨリハ、地方單獨組合乃至村組合ト化シテ、次第ニ腐レ落チルダケデアラウトノ確固タル見透シガツイタ。コノ結論ハ

三、全農民組合運動カラミテ、重大ナ問題デアル。今ヤ、一刻モ猶豫スベキ秋デハナイ。我ガ全農總本部ハ、全會派内部ニ對スル從來ノ靜觀的態度ヲ捨テ、全農ノ戰線擴充統一ヘノ積極的轉換政策ノ一部トシテ、統一可能ナル全會派ノ一部地方ニ對シ、コノカンバーニヤヲ通ジテノ急調子ノ統一活動ヲトルコトニシタイ。

(一) ソノ方法ハ

イ、先ヅ全國運動ヲ共同デ又ハ同時ニ起スベク打合せヲ全會派ニ持チコム。

ロ、カクシテ兩者ノ幹部ト大衆ト接近トソノ後ノ動向ニヨル地方的合同ヘト内交渉ヲ、強硬ニ進メル。

ハ、ソノ話ガ成立スルナラバ、ナルベク、全會内ノ統一贊成地方ヲ融合セシメ一ノ全國的結成ヲ計ラセル(全國大會前ニ結成)ソシテ、一マトメニナツテ全農ヘ統一スル(コレハ全國大會デ承認ヲ求メ得レバ上々)

(二) 統一ノ條件ハ

イ、大衆團體タル農民組合ハ、貧農ノ土地ト生活トニ關スル、モットモ直接ノ利益ヲ圖フコトヲ主眼トスル。コレヲ圖ヒウルモノハ全農デアルコトノ理解

ロ、當面ノ社會狀勢ニ於イテハ、依然トシテ、新進幹部ヲ中心